

あなたは、災害に備えて何を

すべきか知っていますか？

はじめに

平成7年(1995年)1月17日に発生した阪神・淡路大震災、そして、平成23年(2011年)3月11日に発生した東日本大震災は、地震の恐ろしさを痛感させるとともに、自助・共助の重要性(地域での助け合い)など多くの教訓を残しました。私たちのまわりでは、地震だけでなく、台風・豪雨など、さまざまな災害が発生し、尊い人命や財産が失われています。中標津町では、これらの教訓をもとに、町民のみなさんが安心して生活できる災害に強いまちづくり・ひとづくりを目指していますが、いつ、どこで起きるか予想が困難な災害から生き残るためには、「**町民のみなさん、一人ひとりの備えと対応**」が最も重要となります。この「防災ハンドブック」は、災害に備えておくことや災害が起きたときの対処方法などをまとめたものです。日ごろから手の届くところに置いていただき、災害に備える「**防災**」と、災害時の被害を少しでも減らす「**減災**」のために活用してください。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平25情使 第72-GISMAP33011号)

風水害・土砂災害
暴風雪・雪害
地震災害
その他の災害
防災マップ
災害への備え

風水害・土砂災害
暴風雪・雪害
地震災害
その他の災害
防災マップ
災害への備え